

2021 年度事業計画

一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会

1. 会員活動 (★:2021 年度新設またはリニューアル)

2021 年度も引き続き、フォーラム・研究会・研究プロジェクト等の充実、活性化を目指し、オンライン開催も取り入れ、活動を実施する。

a. 会員交流

(a) フォーラム

下記のフォーラムを開催し、より活発な活動を進める。

2021 年度より、「IT グループ会社人材育成フォーラム」を新たに立ち上げる。

- ・ CIO エグゼクティブフォーラム (東京 1 グループ)
- ・ IT 企業トップフォーラム (東京 3 グループ+関西 1 グループ)
- ・ IT 部門経営フォーラム (東京 5 グループ+関西 1 グループ)
- ・ IT グループ会社経営フォーラム (東京 3 グループ+関西 1 グループ)
- ・ IT グループ会社人材育成フォーラム (1 グループ) ★
- ・ グローバルフォーラム (シンガポール 1 グループ)

(b) 研究会

2021 年度は、下記 16 テーマについて研究会を実施予定である。

環境変化に応じ、新たに 3 テーマの研究会を立ち上げる。

- ・ ビジネスデータ研究会
- ・ IT インフラ研究会
- ・ サービスマネジメント研究会
- ・ 企業リスクマネジメント研究会
- ・ ビジネスプロセス研究会
- ・ IT 投資ポートフォリオ研究会
- ・ 組織力強化研究会
- ・ デザイン思考 x ソーシャルビジネス実践研究会★
- ・ システム開発・保守 QCD 研究会
- ・ AI 研究会
- ・ デジタル変革リーダー自己育成研究会
- ・ ダイバーシティ&インクルージョン研究会
- ・ 組織内起業家研究会
- ・ サステナビリティ・トランスフォーメーション研究会★
- ・ 基幹系システム アジャイル適用研究会★
- ・ HRCS(Human Resource Case Study)研究会★

(c) アドバンスト研究会

個別グループでの設立申請を受け、政策企画委員会の審査・承認を経て活動を実施する。

(d) 研究プロジェクト

下記の研究プロジェクトを実施する。

- ・ 未来ビジネスフォーラム

(e) 会員研修会 (JUAS アカデミー)

ITに関する最新技術、関連施策に加え、業界や市場の動き、海外動向、経営に適用し得る考え方等の時宜に即したテーマを選び、単発の会員限定の研究会として開催していく。

2021年度も前年に引き続き、オンラインを中心に様々なテーマで積極的に実施していく。

(f) 関西

前述のIT企業トップフォーラム関西、IT部門経営フォーラム関西、ITグループ会社経営フォーラム関西のほか、ミドルマネジメントの意見交換の場として、PARK (The place of advanced relationship in Kansai) を開催する。

(g) 情報セキュリティWG

前年度の活動成果をふまえ、情報セキュリティに関する課題とその解決方法の共有を目的に、15名程度のWGを2グループ(セキュリティマネジメントWG/サプライチェーンセキュリティWG)開催予定である(1・2か月に1回程度の活動を予定)。

b. 「認定個人情報保護団体」としての活動

2021年度も前年度に引き続き、C会員を中心に登録を受け付け、苦情相談等を実施する。

c. セキュリティセンター (プライバシーマーク審査事業)

2021年度のプライバシーマーク審査件数は、2020年度の申請受付件数増(1,976件)等を背景に、2,100件程度を見込んでいる(2019年度と比較し272件増、2020年度と比較し600件増)。

改正個人情報保護法の施行まで一年を切り、審査を取り巻く環境の変化がある中、審査基準の改訂への対応を含め、審査品質の維持・向上を目指し、月に2回の審査員会議を継続して開催し、審査の基準の理解を深めていく。また、プライバシーマークに係るPMSの構築相談や情報共有などの各種会員サービスも継続して行っていく。

2021年度、新規・更新含め大幅な審査件数増が見込まれることから、引き続き審査員の新規契約・教育・育成、組織的マネジメント、審査業務の効率化・システム化などの諸施策を講じ、今後もタイムリーな審査を実施できる体制を維持していく。

2. 教育研修事業

会員をはじめとした企業の人材育成、さらには組織力強化について、より一層の支援を行っていく。

これまでのオープンセミナーの定期講座、コース型研修や新人・配転者向けプログラム、オーダーメイド研修、ラボを引き続き実施していくほか、受講形式もオンライン受講、オンライン受講と会場受講を選択ハイブリッド形式など取り入れていく。

各社の人材育成に寄与するような新規テーマでの研修講座を企画、開催し、さらに受講生の拡大を図りたい。

なお、2021年度はオリンピック期間の開催を避けて実施するため、2020年度と同程度のセミナー開催数を見込んでいる。

「新人・配転者育成プログラム」については、受講希望者数が大幅に増加しており、対応するため、受講環境の強化を実施するとともに、昨今のIT部門を取り巻く状況に応じたプログラムの刷新を実施する。

3. 普及推進事業

a. JUAS スクエア 2021 オンライン

ユーザー目線での情報発信・情報収集ができるユーザーカンファレンス「JUAS スクエア 2021 オンライン」の開催を予定している。

2020年度オンライン開催でのノウハウ蓄積を基に、2021年度は規模を拡大し、2021年7月14日(水)、15日(木)の2日間に亘って、オンラインで開催する。

また、下期にも2022年2月17日(木)、18日(金)にオンライン開催を予定しており、より多くの情報発信を目指している。

b. イノベーション経営カレッジ

2021年度も度引き続きイノベーション経営カレッジの活動をプログラム(人材育成)、コミュニティ(同窓会)、ラボ(研究)の3つのカテゴリで実施する。

これまで18回実施してきたミドルマネジメント層向けのプログラムは、10月・11月の開催を予定している。また、2018年度より新たに実施した事業創造のための協創の場「Challenge Camp」についても前年度の活動をふまえて、10月～2022年3月に開催を予定している。

4. 調査研究

2020年度までの調査研究事業をベースに新規事業を含めて積極的に実施していく。

5. 企業IT動向調査

企業のIT投資、IT導入状況、IT活用の実態、組織・体制等、動向全般について、幅広く俯瞰的な調査を実施する。また、ユーザー企業における重要課題を「重点テーマ」と位置づけ、解決に向けた指針を提言することを目的とする。実施に際しては、調査委員会・調査部会を組織し、テーマ選定、調査内容企画、分析、報告書執筆を行う。調査の方法は、アンケートとインタビューを併用する予定である。また、アンケート調査は2017年度より継続して、郵送とWeb回答を併用する。

2021年度で28回目の実施となる。企業のIT投資、IT導入状況、IT活用の実態、組織・体制等、動向全般について、幅広く俯瞰的な調査を実施する。また、ユーザー企業における重要課題を「重点テーマ」と位置づけ、解決に向けた指針を提言することを目的とする。

実施に際しては、引き続き調査委員会・調査部会を組織し、テーマ選定、調査内容企画、分析、報告書執筆を行う。

引き続きアンケートとインタビューを併用した調査を実施する予定である。アンケート調査は2020年度から引き続き、WEBからの回答に限定して実施予定である。調査分析に関しては、BIツールを導入するなどして、分析の深化と効率化を図っていく。

※2012年度より公益目的支出計画の実施事業として、継続的に実施している。